

途上

令和7年7月23日（水）No.5

信州大学教育学部附属長野小学校学校だより

文責：教頭



明日から夏休みです。今回は7月の校長講話の様子をご紹介します。

附属小学校の夏といえば？（7月1日 校長講話）

校長：おはようございます。今日から7月ですね。夏といえば？

子ども達：すいか！

校長：そうですね。他にも、冷やし中華、かき氷、扇風機、入道雲、花火、朝顔、ひまわり。夏といえば、いろんなものが出てくるね。では、附属長野小学校の夏といえば何ですか？

子ども達：プール、夏休み。

校長：こんなこともあるんだよ（写真を見せる）。谷浜鍛錬会。来週二泊三日で6年生が行ってきます。プールから「エーンヤ、コーラ」って聞こえてくるね。一生懸命に今6年生が泳いでいますね。もう一つ、これは何でしょう（写真を見せる）。

子ども達：登山！

校長：今の6年生が5年生の時の写真です。その次の週には、5年生が宿泊学習で、一泊二日で飯縄山に行きます。この谷浜鍛錬会と飯縄山鍛錬会には目標があります。

その中で、谷浜鍛錬会では、「集団生活のきまりを守り、仲間と協力して誰にとっても気持ちのよい共同生活をする。」

飯縄山鍛錬会では、「協力して生活する中で、お互いを大切に思いやる気持ちを高めることができる。」という目標がありますが、さあ、この二つの目標で共通するところはどこかな。

子ども達：気持ち、協力。

校長：そうですね。「協力」という言葉が出てきます。みなさん「協力」って何ですか？協力することって何ですか？今日はね、みなさんに一つの詩を紹介したいと思います。谷川俊太郎さんの「ともだち」という詩です。知っている人もいるかもしれないね。長い詩なので、ちょっとだけ紹介するよ。

〈朗読する〉



〈朗読を終えた後〉

校長：「協力」って何かと考えたときに、先生3つの願いを4月にお話をさせてもらったんだけど、これどこかに共通しているところあると思うんですね。

そうだね。「友達を大切にすること」だね。「協力」することで、友達を大切にすることに

つながるかもしれないし、逆に、「友達を大切にする」ことによって、「協力」がよりできることになるかもしれません。さらには、「協力」を考えていくことで「共に在る」につながるのではないかと思います。みなさんはどう考えますか。

ぜひ、クラス、学年でも話し合ったり、自分の気持ちを日記に綴ったりしてくれると嬉しいです。今日も静かに聴いてくれてどうもありがとう。以上で校長講話を終わりにします。

(7月1日 校長講話より)

子どもたちの日々から（谷浜鍛錬会・飯綱宿泊学習）

6年生は7月9日から11日の三日間、5年生は7月16日と17日の二日間、それぞれ谷浜鍛錬会と飯綱宿泊学習に行ってきました。おかげさまで無事に行うことがきました。海でも山でも、目標が達成できるように、お互いに声を掛け合い、勇気づける姿や、自分の係活動の責任を果たそうと努力する姿を見ることができました。それは、校長講話にあったように、学級を超えて協力する姿でした。夏休み明けの生活にも、こうやって培ってきた「ともだちを大切にする事」「失敗を恐れずにチャレンジすること」を普段の生活に生かしていきたいと思います。

明日7月24日（木）から8月21日（木）まで、29日間の夏休みとなります。全校で目指している目標の三つ目である「怪我や事故のないように気をつける」、夏休みとしましょう。水や火の事故、インターネット（SNS）の使い方など、ご家庭でも十分にお子さんとお話をしていただき、お気をつけてお過ごしください。みなさま、素敵な夏休みをお過ごしください。

